

13

46歳の男性。脳梗塞による右片麻痺。Brunnstrom法ステージは上肢Ⅴ、手指Ⅴ、下肢Ⅴ。発症後7か月が経過し、認知機能はMMSEが24点、軽度の注意障害を認めている。既に退院し、父母と同居している。発症前は内装業に従事していたが、同職での復職が困難であることから、就労移行支援による雇用を目指している。作業療法士が患者に実施する内容で正しいのはどれか。

1. 就労準備は課題がなくなるまで続ける。
2. 雇用されたら支援が終了となる。
3. 実際の場面での職業評価を行う。
4. 雇用条件通りの就業を目指す。
5. 通勤は付き添いを前提とする。

34

ある道具の写真別冊No. 3に示す。

この道具を用いて行う高次脳機能障害評価法はどれか。

1. CBS
2. MFT
3. BADS
4. STEF
5. SLTA

[No. 3 (O 問題34)]

